

# 南仏治安情報（2012年1月）

## ■プロヴァンス地方

### 1. 武器を使用した凶悪事件の増加

県警の発表によると、2011年のブーシュ・デュ・ローヌ県における犯罪発生件数は前年とほぼ同水準でした。ただ武器を使用した強盗事件は県全体で12%（マルセイユ市28%）増加、空き巣被害も10%（マルセイユ市6%）増加しています。その他、グループ間抗争は2011年中20件発生し、死傷者29名を出しています（内23名はマルセイユ市内）。

### 2. マルセイユ市の治安悪化に伴う警察官の増強配置

ブーシュ・デュ・ローヌ県警の発表によると、マルセイユ市のパトロール強化のため約200名の警官が増強されたことが明らかになりました。マルセイユ市で発生する事件の14%は観光客が多い1区で発生していることから、市北部の11区、14区、15区などの治安が悪化している地域だけでなく、市全体に行き渡るよう配備していく予定です。

### 3. 商店を狙った強盗事件の多発

1月には地方紙が報じたものだけでも21件（内15件はマルセイユ市内）の強盗事件が発生しました。犯人は武装した2～4人組が主で、宝石店3軒、自動車ディーラーなど高級店などの他、ガソリンスタンドやディスカウントストア、タバコ屋と併設したバーなども狙われています。犯行時間は様々で店内に客が居合わせるケースも多いようです。ご注意ください。

### 4. 250kgの不発弾を処理

マルセイユ港付近の工事現場で12月29日に250kgもの巨大な不発弾が発見され、1月18日にマルセイユ沖30kmの海底で処理されました。直径36センチ、全長1,2メートルで126kgの火薬を含むこの爆弾は1943年にアメリカ軍が投下したもので、大掛かりかつ精密さを要求される撤去作業のため市民4300人近くが避難をしました。

## ■コートダジュール地方・コルシカ島

### 1. インターネットを介したカード犯罪が増加

県警が発表した2011年の犯罪統計によると、全体の犯罪発生件数は前年とほぼ同数（86978件、前年86327件）でした。家屋や公共物などに対する破壊行為が1.8%、対人の暴力行為が4.2%減少したのに対し、配偶者間暴力やインターネットなどでのカード詐欺は増加傾向にあります。

### 2. 二輪車を狙った窃盗事件が多発

当地方ではT-Max500などの大型二輪車を中心とした二輪車の窃盗事件が頻発しており、今年に入り1月1日から13日までで既に201台への被害届が提出されています。盗難車や盗難部品の多くは密売ルートによりイタリアへ送られ、その後ほとんどがチュニジアで取引されているようです。

### 3. レンタサイクルの新たな盗難防止策に効果

2009年7月よりニース市、St-Laurent-du-Var市、Cagnes-sur-Mer市で導入されているレンタサイクル Velos Bleus は現在 1750 台を数え、利用者も多く定着しています。ただ盗難に遭う自転車も多く、その数が 700 台を越えたため、新たな施錠システムが導入されました。新システムは付け外しがしやすく改良されている上、導入 1 ヶ月の段階で盗難車が 1 台もないという良い成果を出しています。

### 4. 13歳以下対象の夜間外出禁止令を延長

ニース市では昨年に引き続き、13歳以下の子供が保護者の付き添いなしで 23 時以降に外出することを禁止する法令を施行することになりました。これは近年の少年犯罪の増加を受けたもので、他にも 22 時以降のアルコール飲料販売禁止令も引き続き施行されることになっています。

## ■ミディ・ピレネー地方

### 1. 2011年の犯罪統計

警察が発表した統計によると、ミディ・ピレネー地方内では、Haute-Garonne 県 (32.9%増) 以外の県で建物や車両に対する破壊行為が減少しています。しかし空き巣の被害は Aude 県 (1.4%減) 以外の全県で 2~27%の増加を見せています。強盗や恐喝、暴力行為など対人の犯罪は Lot-et-Garonne、Gers、Tarn-et-Garonne 3 県で減少していますが、その他の県では増加傾向にあります。

### 2. ラングドック・ルシヨン地方の犯罪統計

フランスでは 2011 年の空き巣被害が前年に比べ 16%増加していますが、ラングドック・ルシヨン地方の 2011 年の犯罪統計によると、同地方でも空き巣被害が概ね増加傾向にありました。Herauld 県では 8985 件と 2010 年の 8759 件に比べ 2.6%増加、Gard 県では 7%、Aveyron 県では 7.3%の増加を見せました。反対に Lozere 県では前年に比べ 12.6%減少しています。

### 3. オートガロンヌ県の空き巣の被害、依然として頻発

トゥールーズ市を中心とするオート・ガロンヌ県では空き巣被害が後を絶ちませんが、2011 年には合計 10950 件の被害が確認され、2010 年の 8642 件より遥かに多かったことが明らかになりました。トゥールーズ市内の家屋や商店では、2012 年 1 月 1 日から 13 日までで既に 200 件の被害届が提出されており、今後も厳重な警戒が必要なようです。ご注意ください。

### 4. 自宅への訪問詐欺に注意を

トゥールーズ市内では 1 月中に、高齢者や障害のある女性宅に水道局や EDF、郵便配達員などを偽って被害者宅に入り込み現金や貴重品を盗んだり、更に偽の警察官が現場検証をする振りをして貴重品を盗む被害が 5 件も報じられました。偽の身分証を提示するケースもありますので、怪しいと思ったら迷わず警察まで (17 番) 通報するようにしてください。

以上の治安情報は、当地地方紙等から得られた情報に基づくものです。